

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立亀山小学校	校長氏名	宮本 眞弥子	生徒指導主事氏名	矢村 千尋
取組事例名		3年生『仲良し遠足を、成功させよう！』			
取組のねらい『キーワード 助け合い』					
3年生は、発達段階として、集団を意識するようになる。この段階の年度初めで、クラス替えして関係づくりができていない状況の中、友達同士の関わりを持たせることをねらいとした。具体的には、友達の力になることができたり、もっと仲良くなることができたりする姿を目指す。					
取組の具体的内容『キーワード 助け合い』					
遠足で、もっと友達と仲良くできることを考え、話し合う。					
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが仲良く遠足に行くために大切なこと ・もっとみんなが仲良くなるために、自分ができること 					
<p>について、お弁当の食べ方や遊び方、歩き方などを具体的に考え、話し合う。例えば、お弁当の食べ方について、最初は仲良し同士で食べるという意見が出たが、それでは仲良くならないので、クラスの全員で大きな二重の円を作り、男女混合で座るという方法を考え実行した。</p>					
					
取組の課題・創意工夫『キーワード 問題解決』					
遊ぶ時間の最初は、助け合うことを意識して活動できていたが、時間が経つと自分たちだけでは助け合うことが難しくなり教員がサポートする場面もあった。助け合わずに自分本位で行動する場面が出てくるなど様々な場面を想定し、そのような場合にどう対応するかまで考えておく必要がある。助け合う力を育てるとともに問題解決能力を育てることも同時に行っていかなければならない。					
取組の成果（効果）『キーワード 意識・意欲UP』					
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで関わったことのなかった児童と積極的に仲良くなろうとする意識が見られたり、男女関係なく関わりを持つようとする姿が見られたりした。 ・これから1年間行う1年生との関わり活動の意欲づけになった。 					
					
今後の展開『キーワード 助け合いを広げよう』					
<p>1・3年生の大毛寺公園・両延神社の季節ごとの探検のサポート活動へとつなげる。1年生のことを思いながら活動できるようにする。</p>					
					
他校へのアドバイス『キーワード ピア・サポート』					
ピア・サポートで、「誰かのために何かできれば」という視点で活動することにより、助け合う力を育てることができる。さらに、このことが自己肯定感や自己有用感を高めることにもつながる。					